

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年07月10日

計画の名称	海拔ゼロメートル地帯における地震・津波に強いまちづくり												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	弥富市												
計画の目標	<p>本市は、名古屋市の西側20km圏内に位置し、南部は名古屋港西部臨海工業地帯をへて名古屋港の港湾海域に臨んでいる。また、海拔0メートル地帯が大きく広がる、極めて平坦な地形である。</p> <p>現在本市は、東海地震に係る防災対策強化地域及び東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されており、厚い沖積層の軟弱な地盤のため、強い揺れによる家屋倒壊や液状化被害が予測される。</p> <p>また、本市において最も被害のあった伊勢湾台風と同程度以上の高潮災害にも対策が必要である。</p> <p>これらの災害について、市地域防災計画に基づき防災対策を進めてきたところであったが、平成23年の東日本大震災により東北地方において甚大な津波被害が生じた事を受け、本市として新たに津波対策の重要性が高まっている。</p> <p>本計画では、引き続き大規模地震対策として新たに津波・高潮対策として、市内における高所の避難場所確保のため既存の公共施設の改修（屋外階段整備等）を実施する等のハード対策や、市全体の避難計画を策定したうえで、用途地域別の津波避難計画策定及び防災ガイドブックの全戸配布によるソフト対策によって、市民の防災意識向上を図り、自助・共助・公助の面から地震・津波に強いまちづくりを目指す事とする。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	201	A	181	B	0	C	20	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	9.95	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成26年	平成28年	平成30年
1	市内において津波等に対する避難場所が不足している地域内の公共施設(小学校及び保育所)に屋外階段や屋上フェンス等を整備する事によって建物の屋上に新たな避難場所を確保する。(H26～H30) 既存の公共施設に屋外階段等を整備する事によって増加する避難可能人数。(整備後3,460人増) ※避難に必要な面積は、1㎡/人で算定	44,400人	48,000人	47,860人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	弥富市	直接	弥富市	—	—	1-C-1 防災情報の提供	防災ガイドブックの作成（20,000部）	弥富市	■					3	—	
		津波避難施設整備と発災以前から市民に対する防災情報の提供を一体的に実施することで、より一層の防災意識向上を促し、人的被害の軽減を図れる。																	
	C13-002	都市防災	一般	弥富市	直接	弥富市	—	—	1-C-2 都市防災総合推進事業（災害危険度判定調査）	市全体計画の津波避難計画策定	弥富市		■				17	—	
		津波避難施設整備と発災以前から避難計画を市民に周知することにより、避難行動を迅速、的確に行うことにより、人的被害の軽減を図れる。																	
											小計						20		
											合計						20		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	弥富市	直接	弥富市	-	-	1-A-1 都市防災総合推進事業(防災まちづくり拠点施設整備)	津波非難施設整備	弥富市	■	■	■	■	■	181		-	
												小計						181		
												合計						181		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

弥富市総務部において実施

事後評価の実施時期

令和元年7月

公表の方法

弥富市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

小学校及び保育所に屋外階段や屋上フェンス等を整備することにより、不足している津波等に対する避難場所を確保することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

津波避難計画を策定することにより津波被害に対する基本的な方針を定めることができた。また、防災ガイドブックを作成することにより、市民に対して津波等に対する正しい情報を提供することができた。

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	47,860 人
	最終実績値	47,860 人